

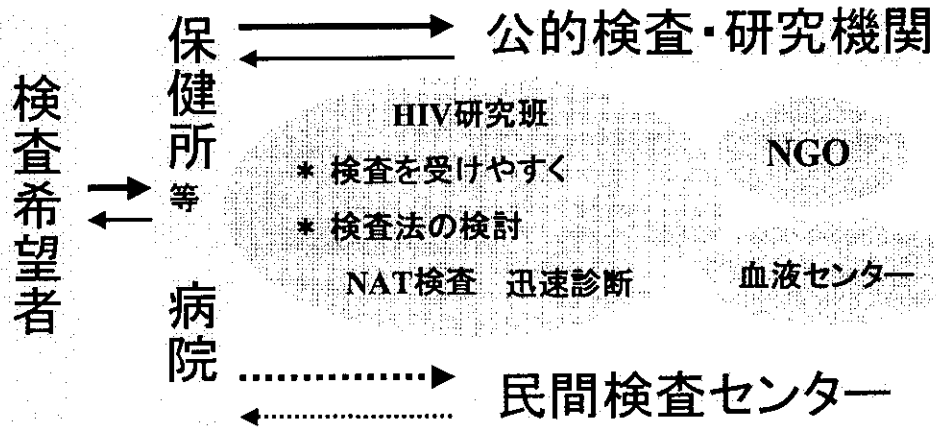
- 子、大石 功、岡 修一、佐野 浩一、第14回日本エイズ学会（京都）
22. HIV感染者のトータルケア。
花房 秀次、田上 尚道、杉田 哲佳、加藤 真吾、第14回日本エイズ学会（京都）
23. 都内2医療施設におけるHIV-1サブタイプ別感染状況。
齊藤 有紀、杉田 哲佳、松本 智子、高野 八百子、鎌倉 光宏、小林 芳夫、根岸 昌功、加藤 真吾、第14回日本エイズ学会（京都）
24. SHIV感染サルでのAIDS発症期における感染性ウイルスの定量と遺伝子解析。
三宅 在子、榎瀬 良美、大倉 定之、加藤 真吾、速水 正憲、第14回日本エイズ学会（京都）
25. 感染者由来HIV-1のクローンレベルにおける薬剤感受性。
杉田 哲佳、田上 尚道、花房 秀次、有吉 紅也、加藤 真吾、第14回日本エイズ学会（京都）
26. 抗HIV-1治療におけるブランク法による薬剤感受性試験の意義。
加藤 真吾、杉田 哲佳、田上 尚道、花房 秀次、第14回日本エイズ学会（京都）
27. 発症予防治療班1999年度調査におけるLTNPの検索とそのretrospective analysis。
立浪 忍、三間屋 純一、滝 正志、山本 泰之、花房 秀次、藤村 古博、照沼 裕、加藤 真吾、吉田 考人、第14回日本エイズ学会（京都）
28. LNTPにおける遺伝子的多様性とプロウイルス量。
加藤 真吾、杉田 哲佳、齊藤 有紀、花房 秀次、田上 尚道、瀧 正志、三浦 琢磨、三間屋 純一、第14回日本エイズ学会（京都）
29. 末梢血単球におけるHIV-1 RNA-DNA hybrid生成の速度論。
田上 尚道、花房 秀次、杉田 哲佳、加藤 真吾、第14回日本エイズ学会（京都）
30. MAGIC5A細胞を用いた薬剤感受性試験の確立。
佐藤 克彦、村上 貴哉、森下 高行、多和田 行男、羽根田 進、巽 正志、金田 次弘、第14回日本エイズ学会（京都）
31. 新規低分子化合物；ペンダント型亜鉛サイクレン錯体の抗HIV作用。
山本 直彦、大竹 徹、森 治代、川畑 拓也、森下 高行、佐藤 克彦、内海 真、金田 次弘、浅尾 哲次、塩谷 光彦、第14回日本エイズ学会（京都）
32. Peptide Nucleic Acid (PNA)プローブを用いたインサイチュアハイブリダイゼーション(ISH)法によるHIV-1の検出。
萩原 智子、村上 貴哉、山本 和子、服部 純子、内海 真、金田 次弘、第14回日本エイズ学会（京都）
33. 抗HIVサルベージ療法。
味澤 篤、今村 顕史、根岸 昌功、増田 剛

- 太、貞升 健志、関根 大正. 第14回日本エイズ学会 (京都)
34. IDV/RTV 療法の臨床と血中濃度.
味澤 篤、今村 顕史、根岸 昌功、増田 剛太、貞升 健志、関根 大正. 第14回日本エイズ学会 (京都)
35. Involvement of Gag cleavage site mutations in human Immunodeficiency virus type 1 (HIV-1) resistance to protease Inhibitor.
Lay Myint, Teiichiro Shiino, Zen Matsuda, Yoshiyuki Yokomaku, Masakazu Matsuda, Hanae Abumi, Aiko Okano, Tomoko Chiba, Noboru Takata, Satoshi Shirahata, Wataru Sugiura. 第14回日本エイズ学会 (京都)
36. 薬剤耐性ウイルスの現状.
杉浦 互、岡野 愛子、松田 昌和、鏝 英恵、石川 正明、福武 勝幸、山元 泰之、合地 研吾、花房 秀次、岩本 愛吉、三間屋 純一、高松 純樹、高田 昇、坂下 栄三、日笠 聡、白幡 聡、柏木 征三郎、三浦 琢磨、三宅 進、北村 勝彦、滝 正志、小池 満、山田 兼雄. 第14回日本エイズ学会 (京都)
37. GENERATION OF TAILORED CTL TARGETS WITH VSV-PSEUDOTYPED HIV-1.
横幕 能行、有吉 紅也、三浦 秀佳、立川 愛、岩本 愛吉、杉浦 互、松田 善衛. 第14回日本エイズ学会 (京都)
38. 種々の抗 HIV 薬による薬疹のため治療に難渋している血友病 B 症例.
清水 浩信、滝 正志、伝 美和子、山田 兼雄、杉浦 互. 第14回日本エイズ学会 (京都)
39. 長期追跡症例に見る HIV-1 治療の効果と薬剤耐性 HIV-1 が宿主免疫機能に及ぼす影響の解析.
岡野 愛子、松田 昌和、鏝 英恵、千葉 智子、石川 正明、福武 勝幸、合地 研吾、花房 秀次、岩本 愛吉、三間屋 純一、坂下 栄三、日笠 聡、白幡 聡、高田 昇、柏木 征三郎、高松 純樹、三浦 琢磨、三宅 進、滝 正志、小池 満、北村 勝彦、山田 兼雄、吉倉 廣、永井 美之、杉浦 互. 第14回日本エイズ学会 (京都)
40. 組み替え HIV-1 による薬剤感受性検査の試み.
松田 昌宏、岡野 愛子、横幕 能行、松田 善衛、鏝 英恵、千葉 智子、杉浦 互. 第14回日本エイズ学会 (京都)
41. HIV 母子感染に関する臨床的研究 第1報 -本邦における妊産婦の HIV-1 抗体検査率の全国調査-.
高野 政志、戸谷 良造、喜多 恒和、井村 総一、大久保 秀夫、大場 悟、杉浦 互、須藤 寛人、塚原 優己、外川 正生、仲宗根 正、早川 智、本田 三男、保田 仁介、吉野 直人. 第14回日本エイズ学会 (京都)
42. HIV 母子感染に関する臨床的研究 第2報 -産婦人科領域からの全国調査成績-.
喜多 恒和、戸谷 良造、井村 総一、大久保 秀夫、大場 悟、杉浦 互、須藤 寛人、高野 政志、塚原 優己、外川 正生、仲宗

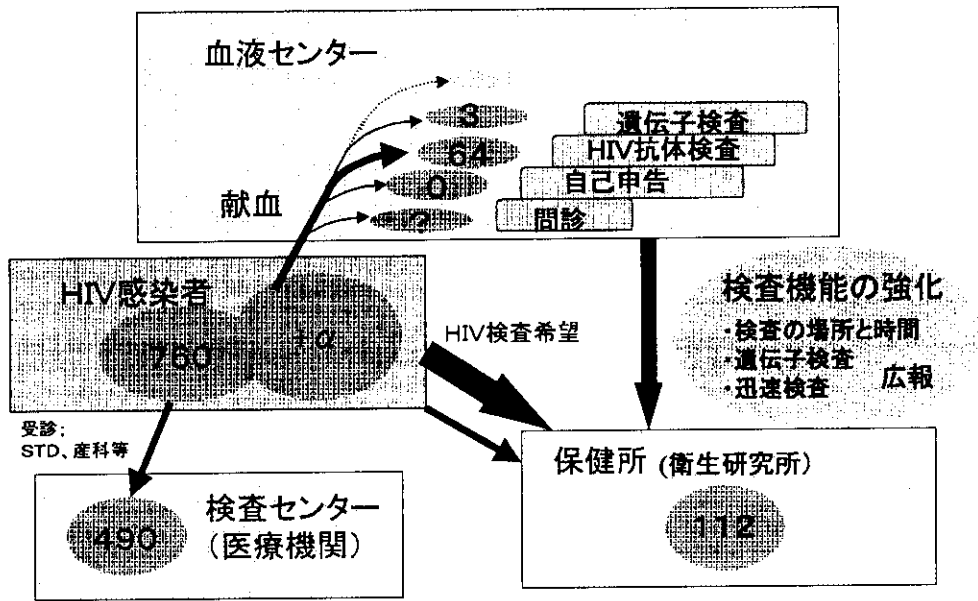
- 根 正、早川 智、本田 三男、保田 仁介、吉野 直人：第14回日本エイズ学会（京都）
43. HIV 母子感染に関する臨床的研究
第3報 -小児科領域からの全国調査結果-。
大久保 秀夫、戸谷 良造、喜多 恒和、井村 総一、大場 悟、杉浦 互、須藤 寛人、塚原 優己、外川 正生、仲宗根 正、早川 智、本田 三男、保田 仁介、吉野 直人。第14回日本エイズ学会（京都）
44. HIV 母子感染に関する臨床的研究
第4報 -HIV 母子感染予防対策マニュアルについて-。
戸谷 良造、喜多 恒和、井村 総一、大久保 秀夫、大場 悟、杉浦 互、須藤 寛人、高野 政志、塚原 優己、外川 正生、仲宗根 正、早川 智、本田 三男、保田 仁介、吉野 直人。第14回日本エイズ学会（京都）
45. HIV-1 感染者における末梢血の C 型肝炎ウイルス(HCV)特異的な CD4 陽性 T 細胞の動態。
田中 真理、平林 義弘、松岡 佐織、土谷 亮人、蜂谷 敦子、高橋 由紀子、井田 節子、岡 慎一。第14回日本エイズ学会（京都）
46. プロテアーゼ阻害剤未治療患者における NFV 投与後の耐性変異獲得の検討。
土谷 亮人、松岡 佐織、高橋 由紀子、蜂谷 敦子、田中 真理、井田 節子、平林 義弘、岡 慎一。第14回日本エイズ学会（京都）
47. 臨床分離株 HIV-1 株由来の *gag-pol* 領域を用いた Novel recombinant resistance assay に関する検討。
松岡 佐織、山本 善彦、佐藤 裕徳、蜂谷 敦子、高橋 由紀子、田中 真理、土谷 亮人、安岡 千枝、井田 節子、平林 義弘、武部 豊、岡 慎一。第14回日本エイズ学会（京都）
48. MAGIC5-SEAP を用いた High Throughput な Phenotypic Resistance Assay について。
蜂谷 敦子、高橋 由紀子、松岡 佐織、土谷 亮人、田中 真理、井田 節子、平林 義弘、巽 正志、岡 慎一。第14回日本エイズ学会（京都）
49. コートジボアールにおける HIV-1 サブタイプの解析。
坂本 優子、鈴木 寿子、福嶋 浩一、中村 太一、吉原 なみ子。第14回日本エイズ学会（京都）
50. プロテアーゼ阻害剤投与による HIV-1 プロテアーゼ遺伝子の耐性変異獲得とその *gag* 遺伝子に及ぼす影響。
杉浦 互、Lay Myint、松田 善衛、横幕 能行、岡野 愛子、松田 昌和、鏝 英恵、椎野 慎一郎、山田 兼雄、永井 美之。第48回日本ウイルス学会（10月）
51. VSV pseudotyped HIV-1 を用いた CTL アッセイ標的細胞の作成。
横幕 能行、有吉 紅也、三浦 秀佳、立川 愛、岩本 愛吉、杉浦 互、永井 美之、松田 善衛。第48回日本ウイルス学会（10月）

HIVスクリーニング検査の検査体制

～ 保健所・医療機関/検査・研究機関と研究班との連携 ～



HIVスクリーニング検査の現状と課題 (2000)



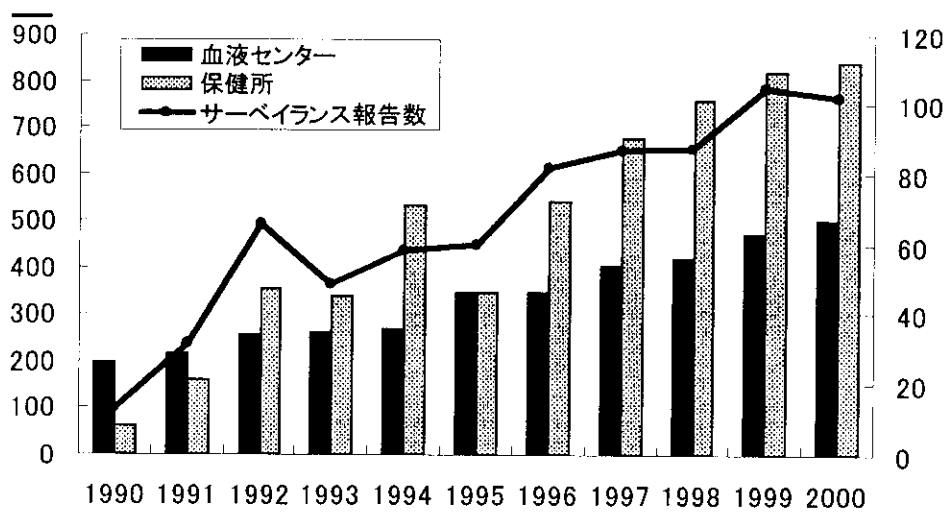
資料3

HIV感染者報告とHIV抗体検査情報 (2000年)

	検査数	陽性数	陽性率(%)
サーベイランス報告数		760	
保健所採血(衛生研究所)	40,664	112	0.28
病院採血(民間検査センター)	963,301	490	0.05
献血者(血液センター)	5,877,971	67	0.001

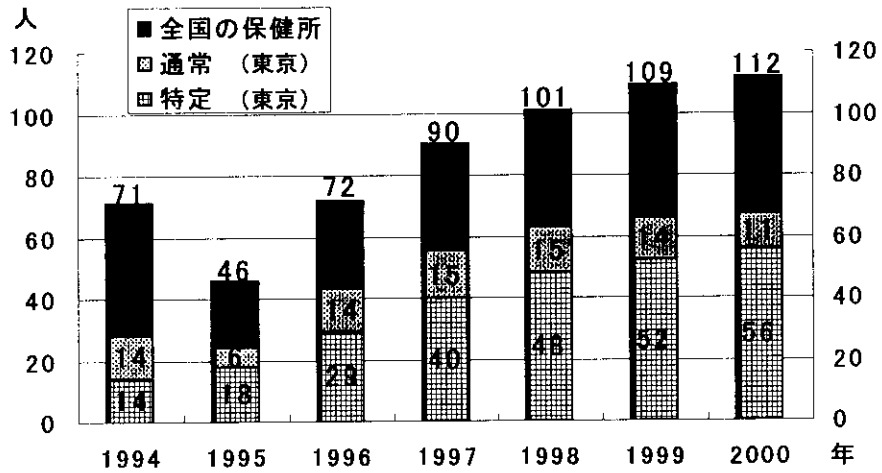
資料4

HIV感染者報告数とHIV抗体検査状況



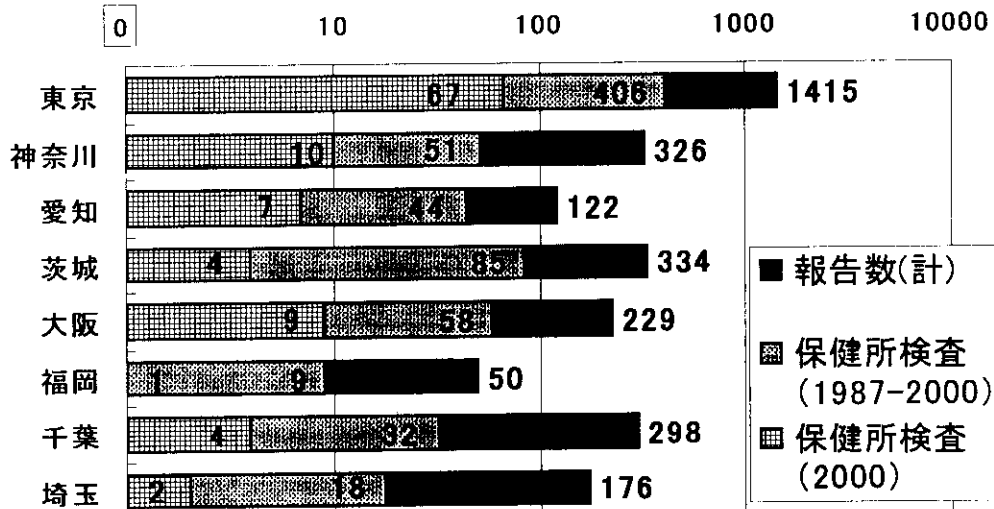
資料5

保健所HIV検査の陽性数



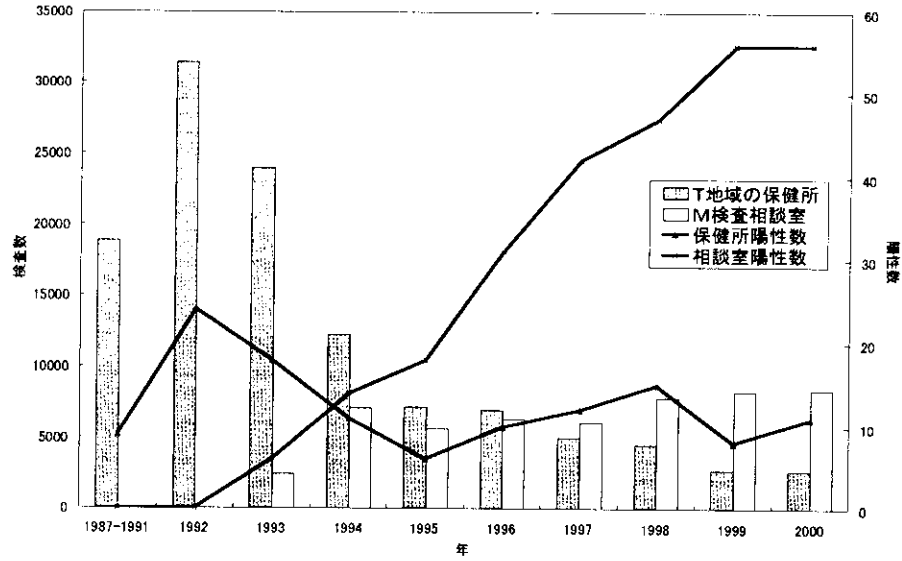
資料6

都道府県別HIV感染者数と保健所検査での陽性数



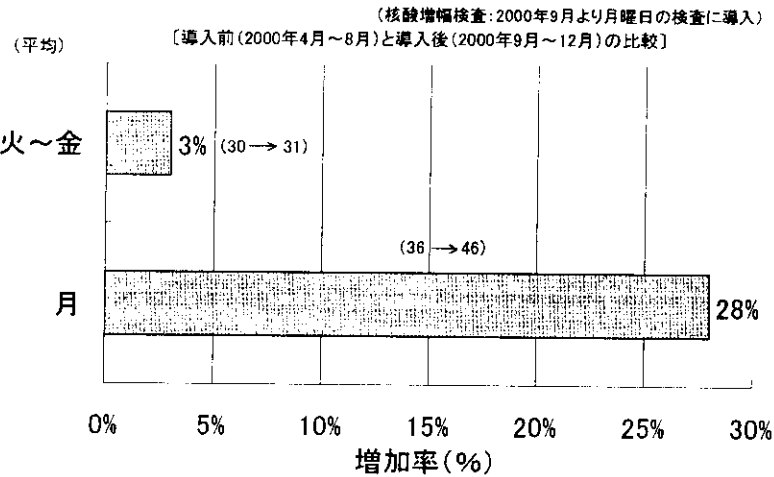
資料7

T地域のHIV検査数と陽性数

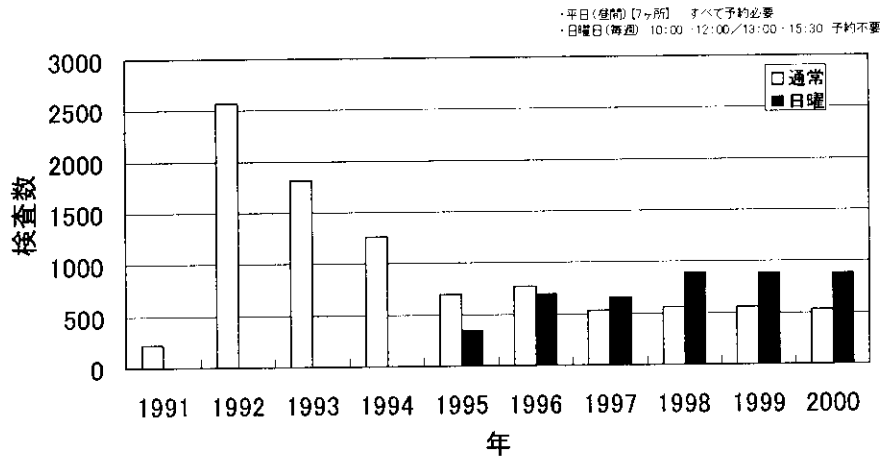


資料8

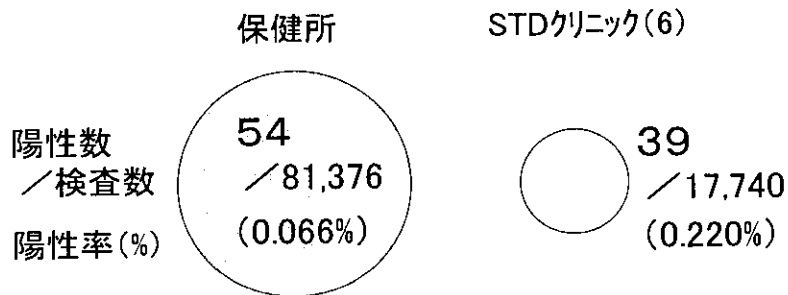
M検査相談室における 核酸増幅検査導入後の検査数の増加



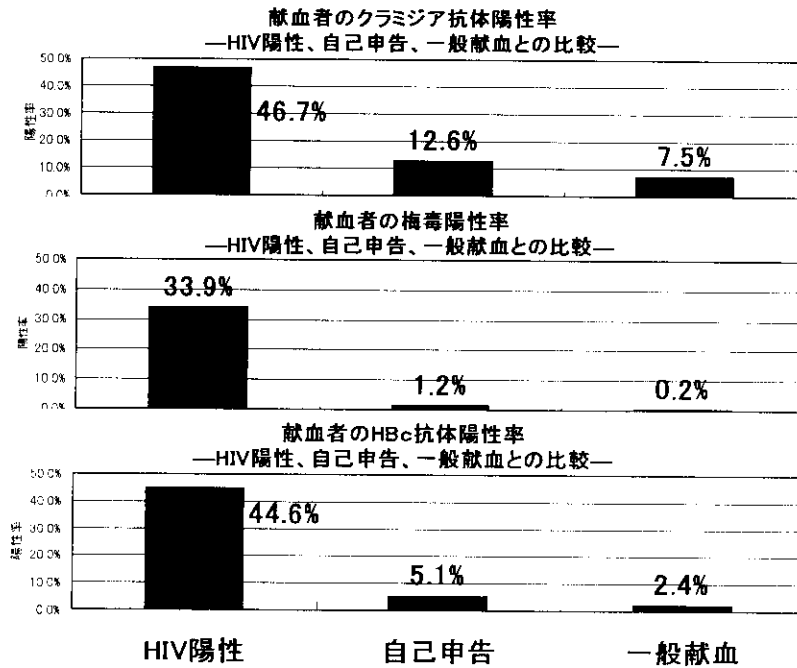
K市の保健所におけるHIV検査実施状況



○地域の保健所とSTDクリニックの比較 —検査数、陽性数、陽性率— (1992~2000年)

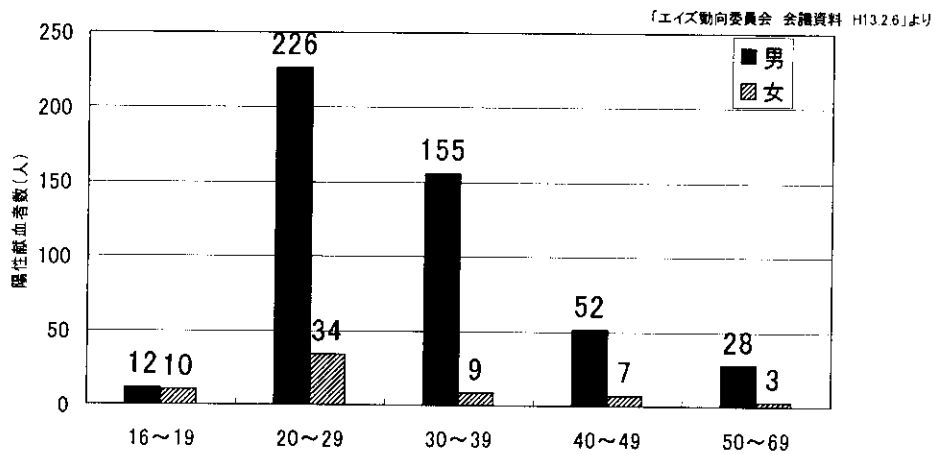


資料11



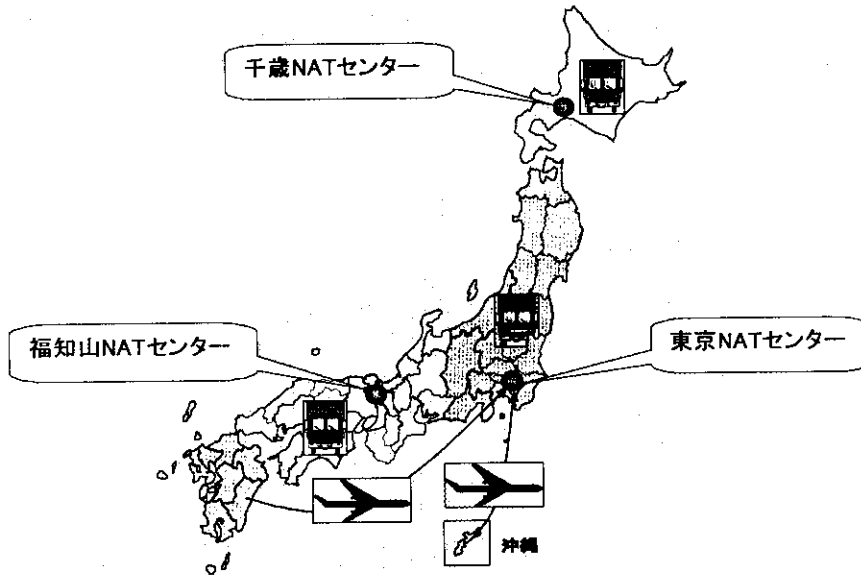
資料12

HIV検査陽性献血者数〔1986～2000年(15年間)合計〕
(性別・年齢層別)
〔総陽性者数 536 (男 473,女 63)〕



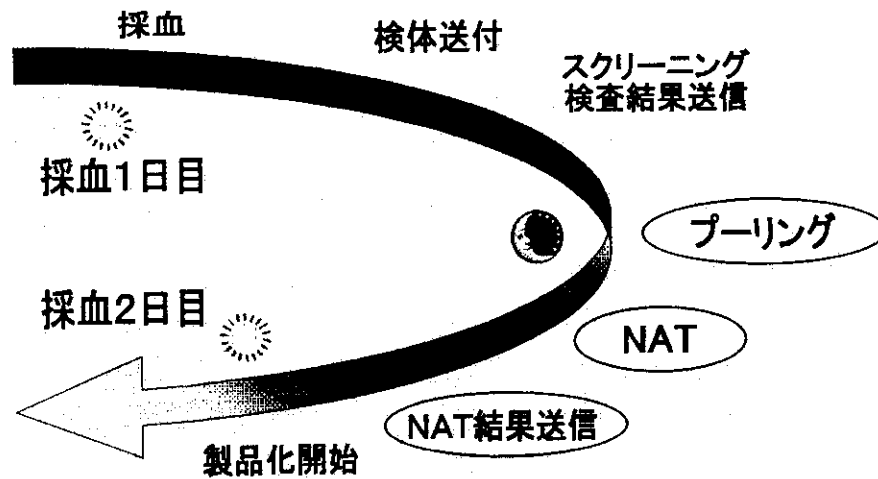
資料13

NAT実施施設とNAT用検体の送付



資料14

NATのタイムスケジュール



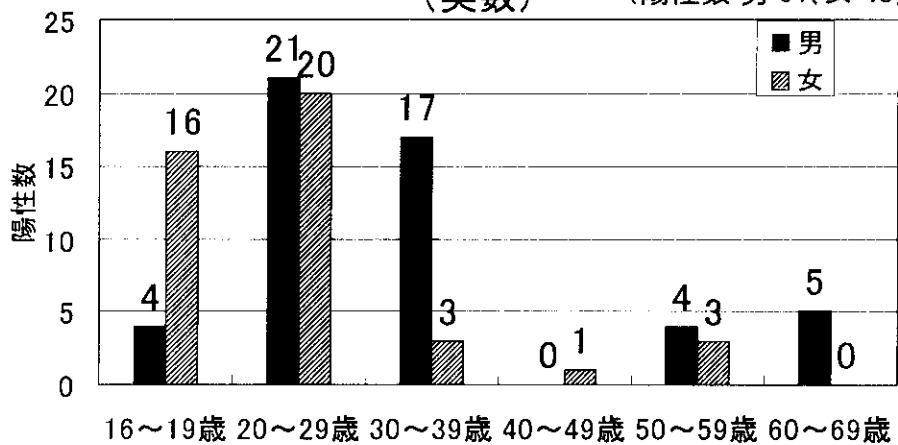
核酸増幅検査(NAT)の実施状況と検査結果(日本赤十字社)

期間: 1999.7.1~2000.1.31					
実施施設	NAT検体検査数	プールサイズ	NAT陽性数		
			HBV	HCV	HIV
東京NATセンター (東京南血液センター)	214万検体 (2,140,207)	500	19 (約1/11万)	8 (約1/27万)	0
千歳NATセンター (血液分画センター)					
期間: 2000.2.1~2000.12.31					
実施施設	NAT検体検査数	プールサイズ	NAT陽性数		
			HBV	HCV	HIV
東京NATセンター (東京南血液センター)	507万検体 (5,070,345)	50	85 (約1/6万)	15 (約1/34万)	3 (約1/169万)
千歳NATセンター (血液分画センター)					
福地山NATセンター (血液管理センター)					
実施施設	NAT検体検査数	プールサイズ	NAT陽性数		
			HBV	HCV	HIV
合計	721万検体 (7,210,552)	500または50	104 (約1/7万)	23 (約1/31万)	3 (約1/240万)

HBV-NAT陽性数(2000/2~2001/1)

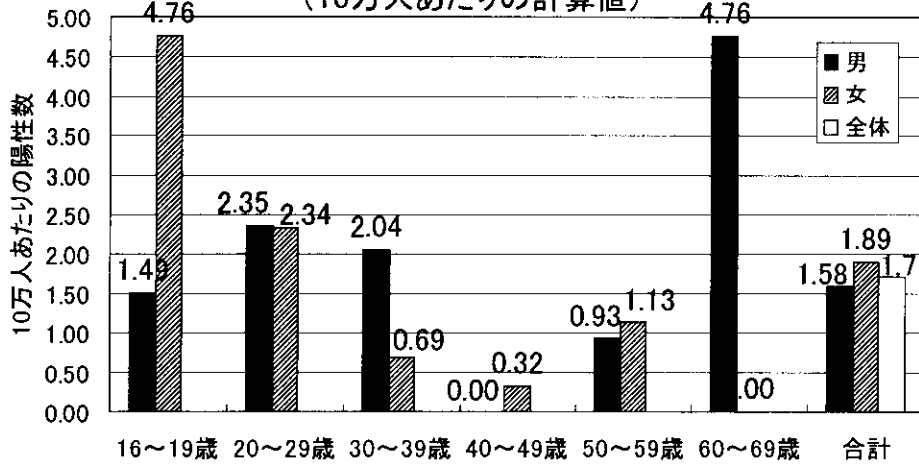
(性別・年齢層別)

(実数) (陽性数 男 51、女 43)

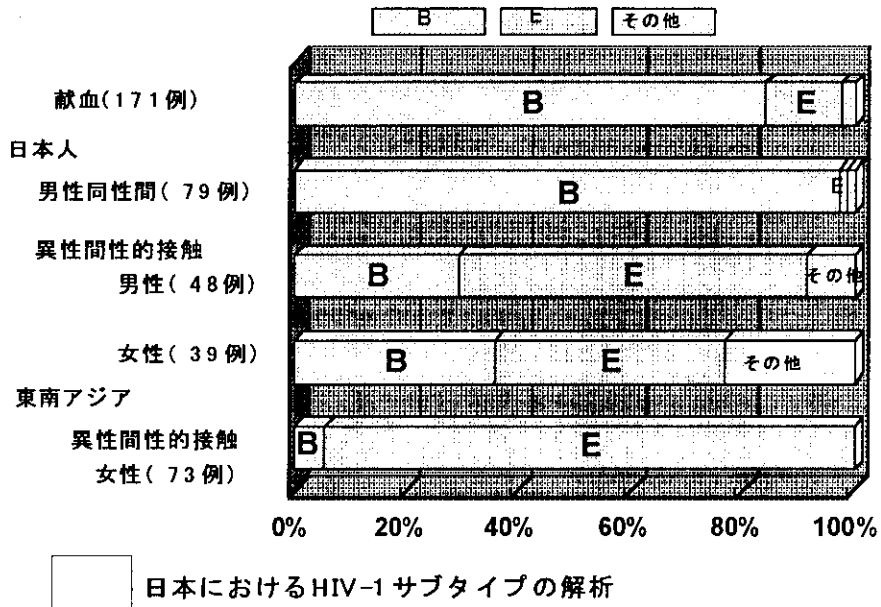


資料17

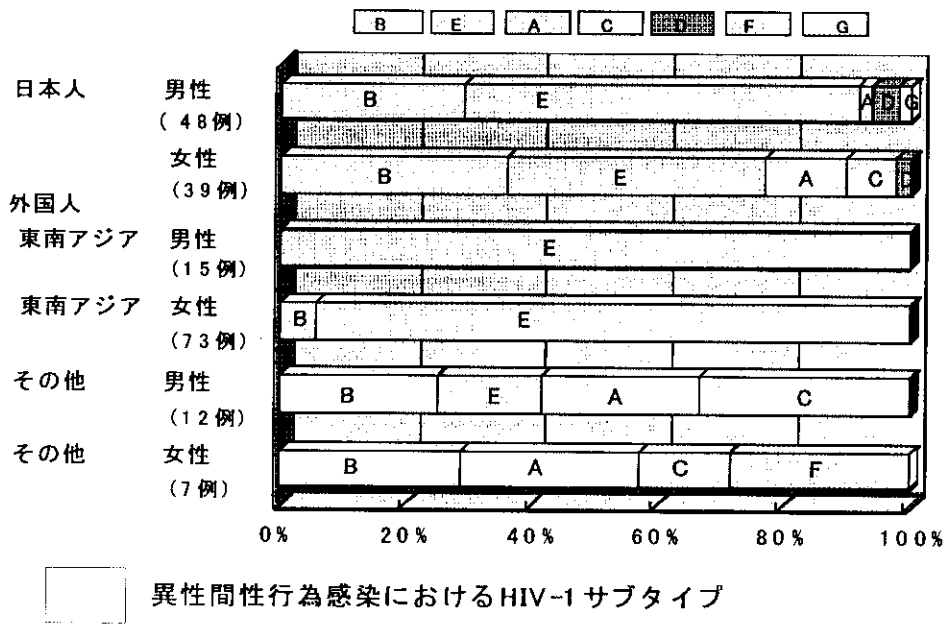
HBV-NAT陽性数(2000/2~2001/1)
 (性別・年齢層別) (陽性数 男 51, 女 43)
 (10万人あたりの計算値)



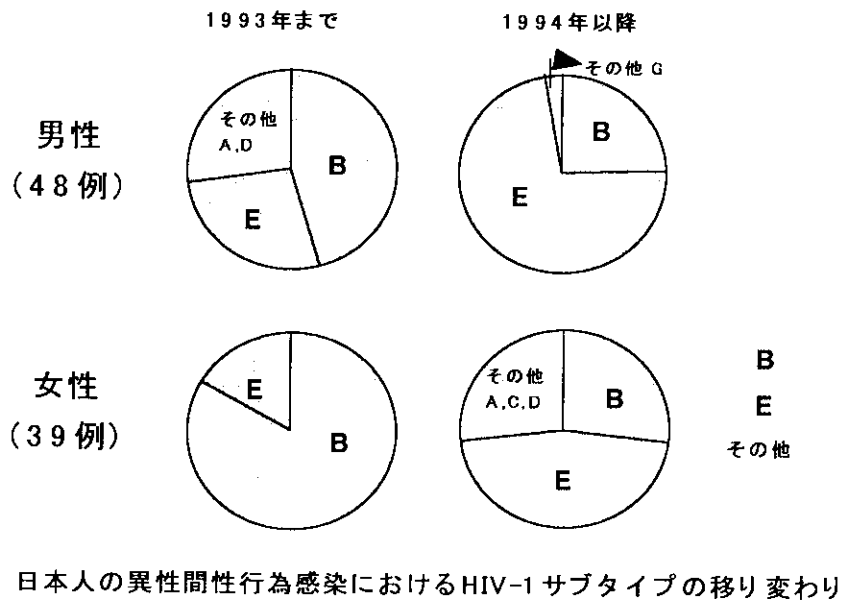
資料18



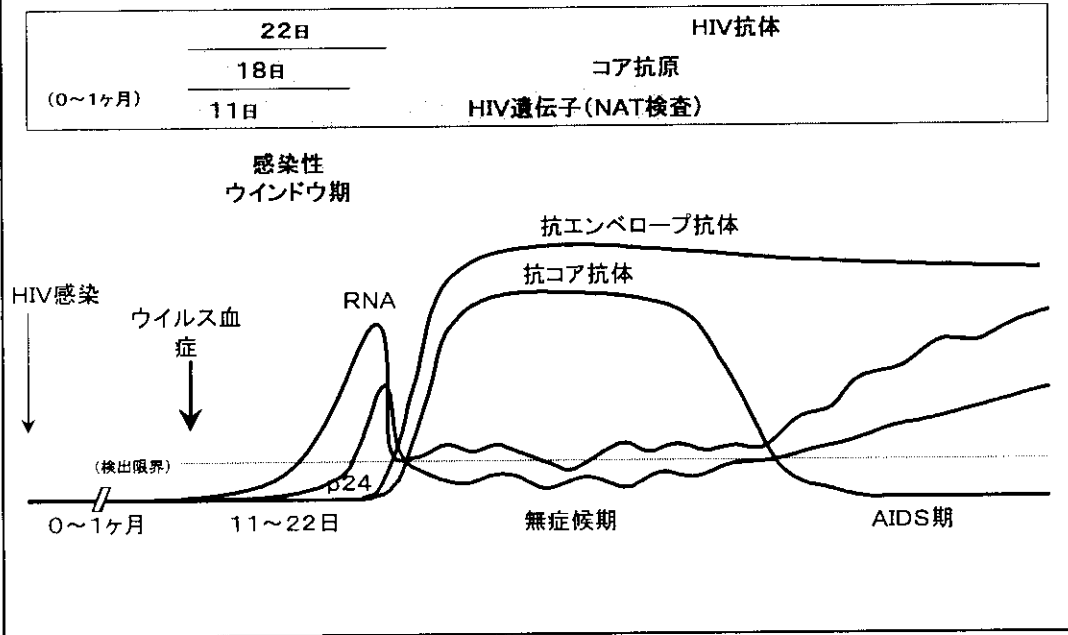
資料19



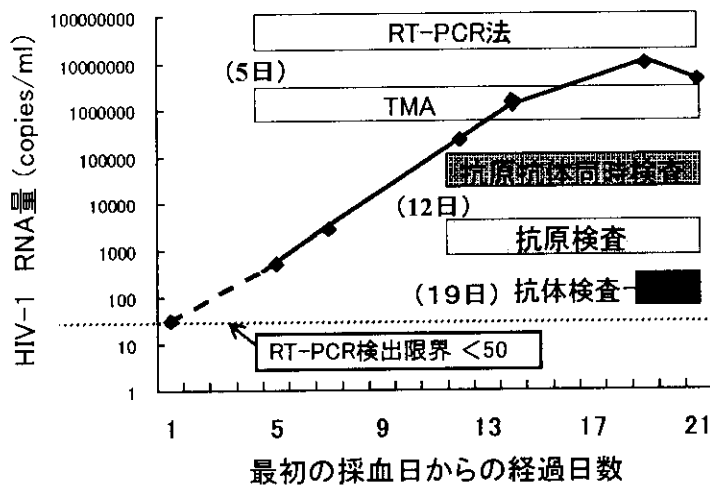
資料20



HIV感染とウイルスマーカー



感染初期パネル血清を用いた各種検査法の比較
—ウイルス量と検出時期の比較—



迅速診断試薬(ダイナスクリーン・HIV-1/2)の検討 — 感度・特異度 —

(1) HIV抗体陽性検体

	検体数	陽性数	陰性数	偽陰性率
A 所	90	90	0	0%
B 所	74	74	0	0%
合 計	164	164	0	0%

感度 : 100% (164/164)

(2) HIV抗体陰性検体

	検体数	陽性数	陰性数	偽陽性率
A 所 保健所陰性検体	639	2	637	0.3%
病院依頼検体	531	0	531	0%
B 所 保健所陰性検体	712	0	712	0%
合 計	1882	2	1880	0.1%

特異度 : 99.9% , 偽陽性率 : 0.1% (2/1882)

抗原抗体同時検査法(VIDUS HIV DUO)の検討 — 感度・特異度 —

(1) HIV抗体陽性検体

	検体数	陽性数	陰性数	偽陰性率
日本国内HIV-1感染者	70	70	0	0%
アフリカ・カメルーン HIV-1 感染者	40	40	0	0%
アフリカ・カメルーン HIV-2 感染者	31	31	0	0%
合 計	141	141	0	0%

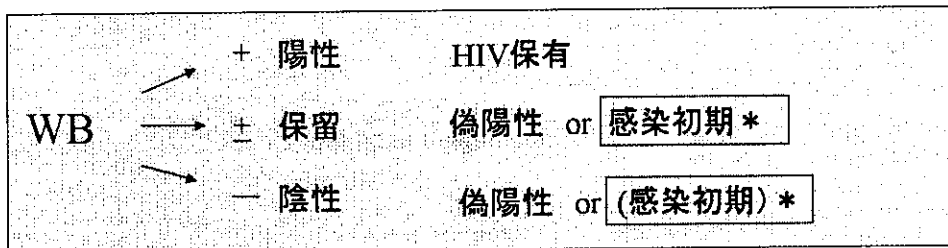
感度 : 100% (141/141)

(2) HIV抗体陰性検体

	検体数	陽性数	陰性数	偽陽性率
保健所陰性検体	300	0	300	0%
妊婦検体	204	4	200	2.0%
合 計	504	4	500	0.8%

特異度 : 99.2% , 偽陽性率 : 0.8% (4/504)

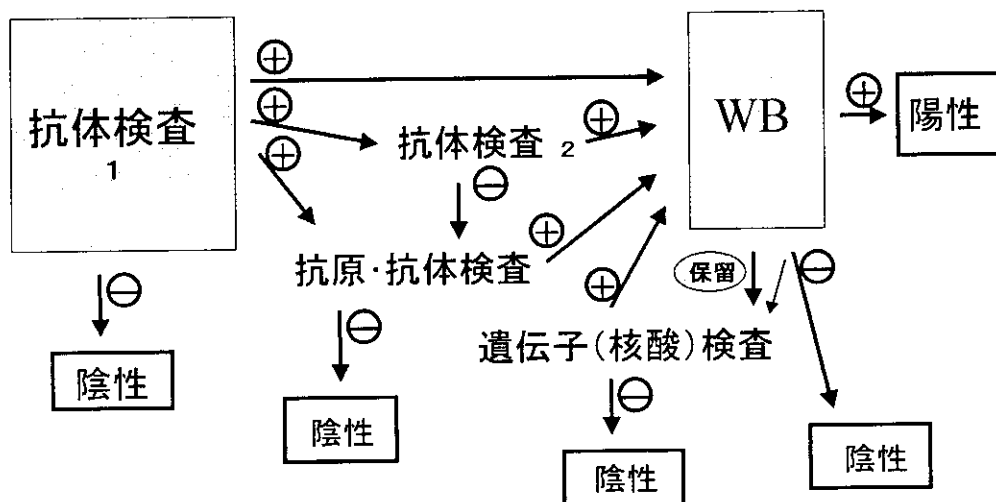
WBによる抗体陽性例の確認検査



- * 1. 1W - 4W 後の再検査
 2. 抗原・抗体同時検査
 3. HIV遺伝子検査

→ 陰性 陰性と判定
 → 陽性 最終判定は再採血しWBで

HIV抗体検査の体系図



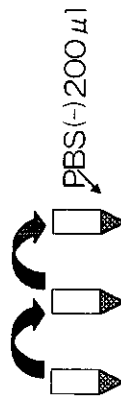
核酸検査に用いる検体の プール・遠心濃縮法

- プール検体の遠心濃縮によるサンプル調整

各検体を200 μ lずつプールする
(8検体までを2mlのチューブ1本にプール
する。32検体までを1プールとする)

↓
15000rpm 4 $^{\circ}$ C 2時間遠心

↓
上清をすて、ペレットをPBS(-)200 μ lで
溶解する。32検体分までは同じ200 μ l
PBS(-)で溶解する。

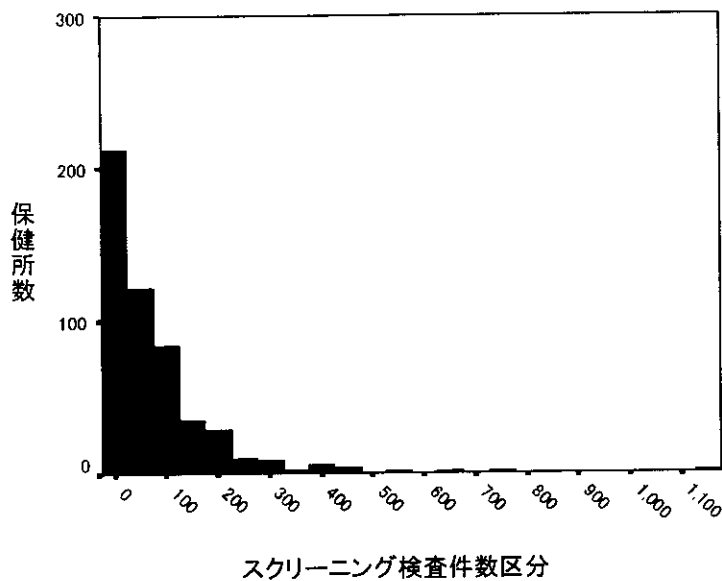


アンプリコアHIV-1モニターキット
を使用し、標準法で測定
(1検体あたり200 μ l使用、
検出限界400copies/ml未満)

資料28

平成11年度HIVスクリーニング検査件数の分布

(N=511)



資料29

平成11年度HIVスクリーニング検査件数の分布

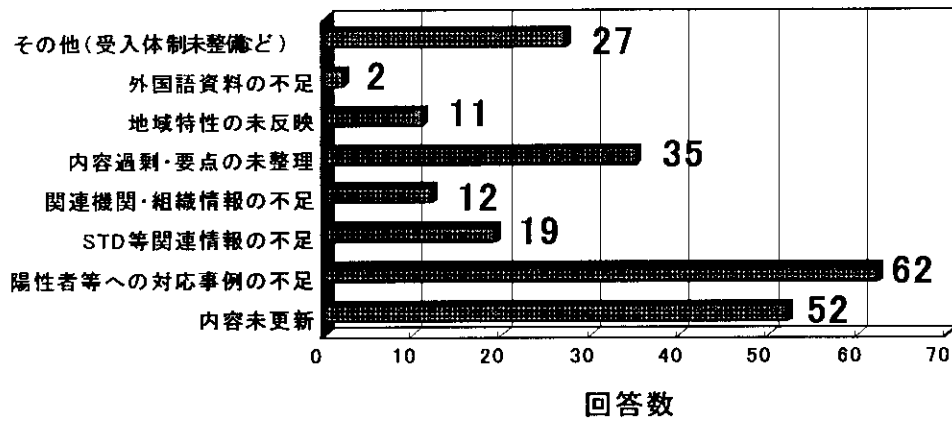
(N=511)

スクリーニング検査件数区分	保健所数 (%)	スクリーニング検査件数区分	保健所数 (%)
0～100件	381 (74.6)	601～700件	1 (0.2)
101～200件	92 (18.0)	701～800件	1 (0.2)
201～300件	22 (4.3)	801～900件	0 (0.0)
301～400件	6 (1.2)	901～1000件	0 (0.0)
401～500件	6 (1.2)	1000件以上	1 (0.2)
501～600件	1 (0.2)	合計	511 (100.0)

総件数	37,893	25%値	12.00
平均値	74.15	50%値	36.00
中央値	36.00	75%値	102.00
標準偏差	104.76		
最大値	1,151		
最小値	0		

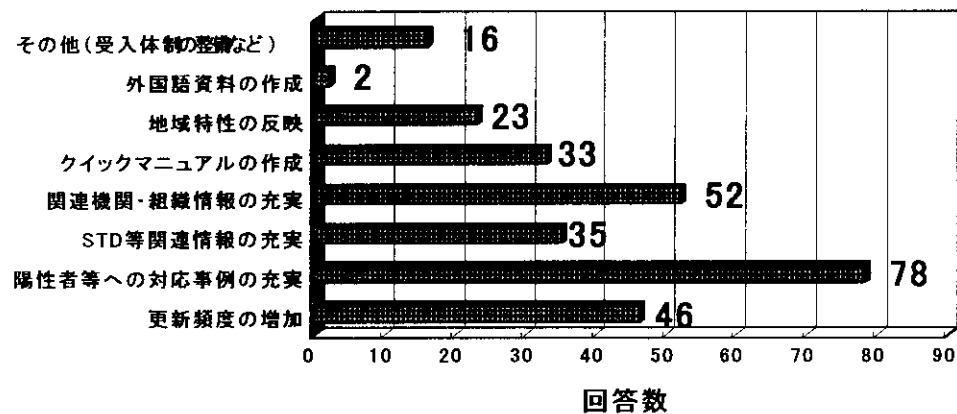
資料30

既存の相談マニュアルの問題点（重複解答可）



資料31

既存の相談マニュアルの変更あるいは充実すべき点（重複解答可）

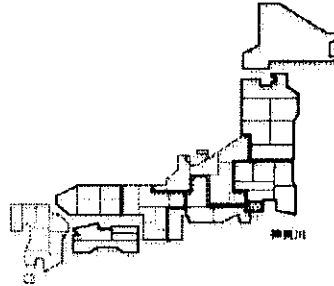


HIV検査・相談マップ

このホームページは厚生省科学研究費エイズ対策研究事業「HIVの検査法と検査体制を確立するための研究班」(班長: 神奈川県衛生研究所 今井光徳)が提供しています。現在は神奈川県の情報を掲載しています。
なお、当ホームページは現在、制作中のため正確に検索されなかったり、表示される情報が不十分な場合があります。

<http://hivkensa.com>

- ◎ 地図検索
- ◎ 項目別検索
- ◎ HIVまの知恵
- ◎ リンク



このページに関するご意見、ご質問、お問い合わせはこちらまでお願いします。✉ web@hivkensa.com
HIVやエイズに関する個別のご相談についてはこちらをご確認ください。

438

HIV検査 MAP SEARCH 相談マップ

◎ 項目別検索 ◎ HIVまの知恵 ◎ リンク

神奈川県

